



鈴木 みどり 議員
誠進会

問 子宝愛西線危険箇所を進捗は

答 早期整備に向け取り組む



▲県道子宝愛西線又八地区の歩道設置要望箇所

問 27年の月議会において、県道子宝愛西線又八地区、危険箇所での歩道設置を要望した。
手続きを踏まえ、県に要望していきたいとの答弁があり、その後地縁団体を設立した。
答 現在の進捗状況と今後の計画について伺う。
答 (土木課長) 県は、28年6月より現況の測量と設計を実施している。来年度は計画説明を行い、法務局への土地の登記手続きを考慮しながら事業を進めていく。
今後は用地取得や登記事務処理の調整など関係者の協力を得ながら、地区の方々と相談して早期に整備できるように取り組む。

問 弥富北中学校では給食での残食はゼロと聞く。その他の小・中学校での残食状況は。
答 (学校教育課長) 小学校全体で残食率0・5%。中学校全体では0・3%。県平均が小学校5・1%、中学校3・4%。本市は残食が少ない。
問 三重県では、給食から出たゴミを回収し、堆肥化への様子を見学し、可燃ゴミの減量を目指す環境学習がある。
学校給食から発生する食品ロスについて、3R(リデュース発生抑制、リユース再使用、リサイクル再生使用)として何か取り組んでいるのか。

問	給食による 3R環境教育は
答	残食が少ない ことが誇り



▲3R (スリーアール) ロゴマーク

答 (学校教育課長) 各校ほとんど残食がないため3Rを意識した取り組みはしていないが、一部の校内で飼育しているウサギの餌にしている。
問 循環型社会の学が場について、市では食育、環境教育についてどのように考え、指導をしているのか。
答 (学校教育課長) 作ってくれた人への感謝を込め、残さず食べる。地産地消の理解を深めるため、地元の野菜を計画的に取り入れている。
循環型社会への関心を高めながら限られた資源を有効活用することを目標に取り組んでいる。